

在外研究員研究報告書

2020年 5月30日 受付

所 属	グローバル・スタディーズ研究科		氏 名	巖 善 平 	
職 名	教授				
研究課題名	中国・格差社会の実態とメカニズム				
研究期間	2019年 9月 ⁶ 日  ~ 2020年 3月 5日				
滞在期間 ・滞在地 研究調査先	滞在期間	滞 在 地	研究・調査先		
	2019年9月5日～ 2020年3月5日	中国・天津市	天津理工大学・管理学院		
研 究 費	216 万円		研究成果の概要	別記 4,000字程度	
発 表	題 目 名	発表学術誌名Vol. No.	発行年月日		
	①中国の社会経済の今をみて考える	『東亜』 pp. 10-19	2020年3月		
	②平成30年間の日本を中国はどうみているか	『東亜』 pp. 2-3	2020年1月		
	③書評・張曉山他『中国農村発展の歩み』	『農業経済研究』第91巻3号、pp. 415-6	2019年12月		
	④書評・宝剣久俊『産業化する中国農業』	『経済研究』第70巻第4号、pp. 360-2	2019年10月		
	⑤新たな局面を迎えた中国の農村貧困と経済格差	『東亜』 pp. 2-3	2019年10月		
	著 書 名	発 行 所 名	発行年月日		
	なし				
	演 題	講 演 学 会 名	講演年月日		
	①中国的收入差別及其机制	江西财经大学经济学院	2019年12月31日		
②中国的扶贫政策与实践	江西农业大学经济管理学院	2019年12月30日			
③中国三农问题新局面	南开大学日本研究院	2019年12月18日			
④中国经济奇迹及其内在机制	山东师范大学公共管理学院	2019年12月1日			
⑤中国的经济增长与人口转型	南开大学经济学院	2019年11月7日			
⑥中国労働市場における需給関係と賃金のマクロ的分析	日本現代中国学会全国大会	2019年10月20日			
⑦少子老年化与可持续发展	華東政法大学公共管理学院	2019年9月12日			
⑧当代中国劳动参与率及其影响因素	第8回世界中国学論壇	2019年9月11日			

在外研究の半年間、著書・論文執筆、見地調査、学術交流などの研究計画は、ほぼ予定通り実行できている。以下、研究成果の概要をまとめる。

1. 既刊論稿の要旨

①「新たな局面を迎えた中国の農村貧困と経済格差」：中国政府はこの間、農村の貧困削減を主導し貧困発生率の大幅な低下に成功した。習近平指導部は近年、絶対的貧困の撲滅に向けて「精準扶貧政策」を打ち出し、国内外から注目を集めている。今後は経済開発型から社会福祉型への貧困対策の方向転換と、経済格差に絡む相対的貧困への取り組み強化が必要だ。

②「平成30年間の日本を中国はどうみているか」：日本は衰弱したのではなく、より質の高い成熟した国に進化し、価値観を共有する国々との連携強化で国家の安全保障をも実現している。しかし、平和主義の浸透を背景に憲法を改正して、戦争もできるという意味での「普通の国」への回帰は必ずしも国民に望まれていない。これは中国の日本専門家がみる平成日本の姿だ。

③「中国の社会経済の今をみて考える」：日頃、関心をもって観察し考える、8つのトピックを取り上げている。すなわち、階層社会の諸相／基層組織の構造と強靱さ／「居民身分証」とその役割／大学、大学教育および学生のキャンパス生活／ネット販売の急成長と課題／高鉄＝中国版新幹線の色々／過剰な住宅建設とその背景／住宅バブルのゆくえ。これを通して、変わりつつある中国の社会経済への理解を深めることができる。

2. 著書・論文の執筆状況

中国語で発表した論文等を再構成し、下記目次の専門書(30万字)を仕上げ、人民出版社から出版される運びとなっている。タイトルは、『人口移動、労働力市場及其机制—基于人口普查、CHIPS、CGSS等微观数据的实证研究(仮)』である。

- 第1章 省际人口流动的动态及其机制研究—基于人口普查数据的计量分析
- 第2章 地区间人口流动的年龄模型及选择性
- 第3章 改革开放三十年上海市的外来人口和农民工动态研究—基于问卷调查数据的实证分析
- 第4章 城市劳动力市场中的人员流动及其决定机制—兼析大城市的新二元结构
- 第5章 人力资本、制度与工资差别—对大城市二元劳动力市场的实证分析
- 第6章 大城市劳动力市场的结构转型—对2003年、2009年上海就业调查的实证分析
- 第7章 当代中国教育的发展与不平等—基于CHIP数据的实证研究
- 第8章 成人高等学历教育的发展及其效果评价—基于中国综合社会调查(CGSS)2010-15的实证分析
- 第9章 户籍差异、教育获取与城市正义—上海市流动儿童少年义务教育的实证研究
- 第10章 市场经济体制下农户的收入决定与就业选择—对6省7县634户微观数据的计量分析
- 第11章 城乡就业率的变化与决定因素—基于CHIP1988-2010的实证分析
- 第12章 城乡劳动力市场中党员身份的作用及其变化趋势—基于CHIP1988, 1995, 2002的实证研究
- 附论1: 中国经济奇迹及其内在机制—兼论日本经验与中国经济下一步
- 附论2: 我国劳动力短缺、工资上涨的现状、原因与对策
- 附论3: 户籍制度改革与农民工的市民化

また、『東洋経済』『東亜』『エコノミスト』『日本経済新聞』など一般向けの紙誌に発表したエッセイを基に、『超大国・中国のあゆみ(仮)』というタイトルの書物を取りまとめ、近く刊行する予定である(18万字)。本書の構成は以下の通りである。

- 第1章 経済成長と格差・貧困問題
- 第2章 農業・農村・農民(三農)問題
- 第3章 少子高齢化・労働問題
- 第4章 教育・社会・政治問題

第5章 日中関係論・中国研究の視点

在外研究期間中、書き上げた刊行予定の論文または論稿も3本あり、それぞれのタイトル、要旨を下記の通り記す。

①「中国の雇用政策と社会保障の動向」(日中経済協会『日中経協ジャーナル』2020年5月、6千字、招待)：2019年12月の中央工作会議で、19年の社会経済情勢を総括しつつ、20年の重要課題として質の高い経済発展、絶対貧困の撲滅・汚染防止・マクロ経済の安定のほか、雇用政策および社会保障問題の改善を強調した。産業構造の高度化や高学歴化に伴う労働の需給構造が大きく変化し、また、そうした変化を反映し社会保障問題も重要性を増していることが背景にある。本稿では、中国の労働市場で起きつつある構造変化、およびそれにかかわる雇用政策の動きを分析し、社会保障政策ならびにその実績を解説する。

②「改革・発展・安定の三位一体論と鳥籠政治—中国は「八九政治風波」から何を学んだか」(アジア政経学会『アジア研究』第66巻3号、2020年7月、2.8万字、招待)：本稿では、天安門事件の教訓を学んで出来た三位一体論、およびそれを土台とする鳥籠政治の形成過程、仕組みと働き、限界とゆくえんについて考える。第Ⅰ節では、天安門事件が発生した時代背景を振り返りその教訓から三位一体論が形成したプロセスを跡付ける。第Ⅱ節では、従来の開発独裁モデルを踏まえながら、三位一体論に立つ鳥籠政治のメカニズムを分析する。第Ⅲ節では、鳥籠政治とメディアの関係を考察し言論の自由と不自由の実態を明らかにする。第Ⅳ節では、鳥籠政治が成り立つ社会経済的基盤、およびその限界を指摘する。最後に鳥籠政治のゆくえんを展望する。

③「中国の農業・農村・農民問題の新局面」(日中友好協会『研究中国』2020年10月、1万字、招待)：本稿の目的は、過去40年間における中国の農業・農村・農民(三農)で起きた地殻変動を描き出し、農業搾取、農村軽視、農民差別を特徴付けられる「三農問題」がどのように変質して新しい局面を迎えたかを、政策・制度の分析と定量分析を通して明らかにすることである。

3. 現地社会経済の調査

滞在先の天津市、近隣の北京市のほか、遼寧省大連市(10月8-11日)、山東省済南市・青島市(11月29日-12月3日)、江西省南昌市(2019年12月29日-2020年1月2日)、安徽省馬鞍市(2020年1月2日-5日)、江蘇省南京市(2020年1月22-31日)を訪れ、各地の社会経済の状況を見学し、専門家との学術交流を行った。以下のテーマにかかわる資料の収集を行った。

- ①住宅市場の基本構造と住宅バブルの形成メカニズムについて
- ②戸籍制度改革と地域間労働移動、および都市労働市場の構造変化について
- ③土地制度改革と土地流動化、および大規模農業経営の可能性について
- ④少子高齢化の実態と対策について
- ⑤市場経済化が進む中の基礎組織(居民委員会、村民委員会)の構造と機能について

4. 専門家との学術交流

第8回世界中国学論壇(2019年9月、上海)に参加し研究報告を行った。また、中華日本学会全国大会(2019年11月10-11日、天津)、中国農業経済学会全国大会(2019年11月16-17日、北京)に出席し、各分野の専門家との学術交流、研究動向に関する最新資料の収集を行った。